



○文理融合基礎枠

—探究を通じて自己創造を！ 挑戦する勇気を！—

社会の諸課題に対応するため、自然科学の「知」と人文・社会科学の「知」との融合による「総合知」を創出・活用した先進的な理数系教育に関する研究開発を実施し、将来のイノベーションの創出を担う科学技術人材の育成を目指します。

○松商学園高校の研究開発課題

課題を主体的に発見・思考・解決し、新たな価値を創造できる人材育成プログラムの研究開発

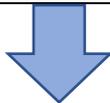
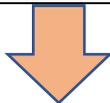
[探究教育]

[グローバル教育]

[キャリア教育]

[データサイエンス教育]

126年の歴史と伝統、そして豊富な教育資源を活用して、生徒が自ら課題と目標をもって探究学習深めるプログラムを提供します。	海外の高校との共同研究、海外研修を通して新たな視点を獲得します。複数の領域の見地から物事を「見る力」を高めていきます。	アセスメントを通して自分の強みと弱点を把握し、基礎的・汎用的能力を高めます。自然科学系を志す生徒をバックアップしていきます。	基礎統計学を学び、データ分析の基本から研究分野に応じた統計分析を確実に行う力を高めます。プレゼンテーションの手法も学びます。
--	---	--	--



1年 SS 探究基礎ゼミ

2年 SS 探究専門ゼミⅠ

3年 SS 探究専門ゼミⅡ

〈国内研修〉

関西学院大学・ソフト産業プラザ・人と防災未来センター



〈海外研修〉

ハワイまたはニュージーランドを予定

各学年 汎用的能力アセスメント実施

理系進路ガイダンス実施

卒業生交流・社会人交流



〈データサイエンス教育〉

基礎統計学やAIを使ったデータ分析を実施しました。



○SSH 指定コースで行われる授業

—SSH ではこんな授業が行われます—

- ・1年：SS 探究基礎ゼミナール 2年：SS 探究専門ゼミナールⅠ 3年：SS 探究専門ゼミナールⅡ（予定）
- ・10月24日（木） 探究中間発表会 基調講演とポスター発表
- ・3月10日（月） 探究成果発表会 基調講演とポスター発表

OSSHの活動

データサイエンス教育を実施

1～2年文理・特進コースの生徒の皆さんが、4月～5月に、データサイエンス教育の演習を行いました。統計学の基礎を学び、AIを使ったデータ分析を体感しました。今後の探究への活用が期待されます。



カンボジアの高校生との国際研究

1年特進コースの生徒3名がINTERNATIONAL COLLABORATIVE RESEARCH PROJECT 2024に参加しています。カンボジアのNew Generation School Preah Yukunthor High Schoolの生徒と共に学校内のカビが増殖しやすい場所を探り、その抑制方法を探っています。月に1回はZoom会議を用いて英語で情報交換を行い、国際比較をしています。

幻の蝶 オオルリシジミ観察会を実施

5月25日(土)、国営アルプスあづみの公園堀金・穂高にて、那須野雅好さん(三郷昆虫クラブ世話人・元安曇野市文化課長)のご指導のもと、天然記念物であるオオルリシジミの観察を通じた環境学習を行いました。2名の生徒に加えて保護者・先生方の計6名が参加し、貴重な学びを深めました。



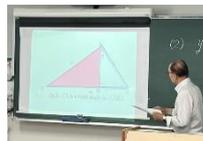
文化祭(松商祭)にて展示発表を実施

7月6・7日の松商祭では、昨年度実施したタイの高校生との共同研究(The study of water quality and biodiversity in Chang canal and Susuki river)、そしてロールスロイスサイエンスキャンプ2023決勝大会出場したホバークラフトを展示しました。また、プログラミングとセンサーを用いた教材を実演展示し、多くのお客様の注目を集めました。

2年特進理系

「英語で数学を教える」授業を実施

静岡大学名誉教授(前松本大学教授)である山崎保寿先生による授業を実施いたしました。A4とA3の用紙を用いた英語による授業を、生徒の皆さんは熱心に受けていました。



受講した人は、「数学的な英単語が難しかったが、思った以上に内容が理解できた」と話してくれました

2特理系探究グループ 2-12 山田紗采・2-13 古畑美南・宮尾彩七

「脂質から日本人を救う～郷土味噌を使って～」

「サイエンスキャッスル研究費アサヒ飲料賞」

発酵食品である味噌づくりのポイントとなる麹には、脂質分解酵素である「リパーゼ」があります。味噌にはこの「リパーゼ」が含まれていて、それは健康食品としての側面に繋がっていること、そして各種の郷土味噌で含有量が異なる可能性があることに注目した研究です。

2特理系探究グループ 2-13 赤羽草太・角田瑞季・米田晴

「日常にホバークラフトを」

「マリンチャレンジプログラム2024」採択

昨年開発したホバークラフトをより現実的に運行できるものに近づける研究を重ねています。ホバークラフトは水陸ともに活用できるため、実際に災害対応などに活躍しています。昨年の開発は「省エネ」を目指しましたが、今年はラジコン化を進め、高い操作性を目指しています。

令和6年度SSH生徒研究発表会参加

8月7・8日、神戸国際展示場で行われた令和6年度SSH生徒研究発表会に2年特進コース生徒2名が参加し、見学団として1年・2年の27名が参加してきました。詳細は次号で報告致します。



学校法人松商学園

松商学園高等学校

SSHの活動はホームページに掲載されています

<https://www.matsusho-h.ed.jp/>

